

平成23年産てんさいの作付面積及び収穫量（北海道）

－ てんさいの収穫量は、前年産に比べて15%増加 －

【調査結果の概要】

1 作付面積

作付面積は6万500haで、前年産に比べて2,100ha（3%）減少した。
これは、小麦、そば等への転換があったこと等による。

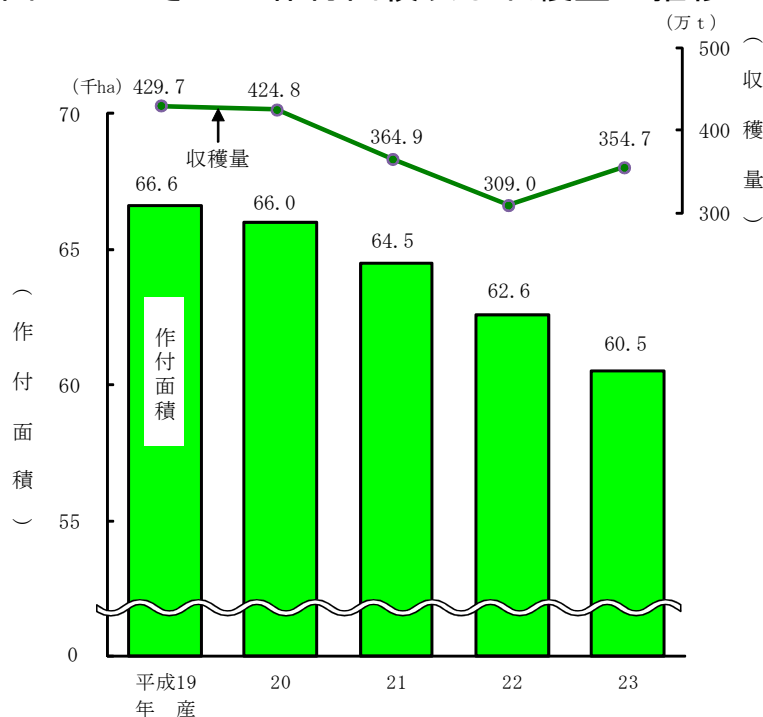
2 10a当たり収量

10a当たり収量は5,860kgで、前年産に比べて19%上回った。
これは、移植の遅れの影響により生育に抑制がみられた地域があったものの、全般的に褐斑病等が多発した前年産に比べて被害が少なかったためである。
なお、10a当たり平均収量対比は96%であった。

3 収穫量

収穫量は354万7,000tで、前年産に比べて45万7,000t（15%）増加した。
これは、作付面積が減少したものの、10a当たり収量が前年産を上回ったためである。

図 てんさいの作付面積及び収穫量の推移



○ 「10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である（統計表3ページにおいて同じ。）。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 調査結果の利活用

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び目標達成に向けた生産指導・達成状況検証のための資料
- ・ 「畑作物共済事業」における共済基準収量算定及び農業共済組合連合会当初評価高の審査・認定のための資料
- ・ てんさいに関する生産振興を図るための産地収益力向上支援事業等の各種事業の資料

◎ 累年データ

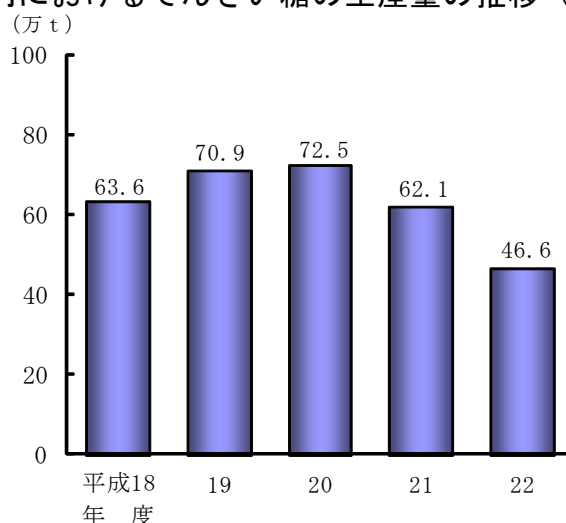
てんさいの作付面積、10a 当たり収量及び収穫量

区 分	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量
	ha	kg	t
平成14年産	66,600	6,150	4,098,000
15	67,900	6,130	4,161,000
16	68,000	6,850	4,656,000
17	67,500	6,220	4,201,000
18	67,400	5,820	3,923,000
19	66,600	6,450	4,297,000
20	66,000	6,440	4,248,000
21	64,500	5,660	3,649,000
22	62,600	4,940	3,090,000
23 (概数)	60,500	5,860	3,547,000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

◎ 関連データ

国内におけるてんさい糖の生産量の推移（砂糖年度）



資料：農林水産省生産局農産部地域作物課調べ

注：1 砂糖年度とは、当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。

2 生産量は、製品ベースの数量である。

3 なお、国産のてんさいを原料として、てんさい糖の他にバイオエタノール用原料糖液が製造されている（バイオエタノール用原料糖液を精製糖に換算すると、平成20年は7,500 t、平成21年は18,450 tに相当する。平成22年については、仕向けなし。）。

【統計表】

平成23年産てんさいの作付面積、10 a 当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較						(参考)	
				作付面積		10 a 当たり収量	収穫量		10 a 当たり平均収量	10 a 当たり平均収量	
				対差	対比	対比	対差	対比	対比	対比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg	
北海道	60,500	5,860	3,547,000	△ 2,100	97	119	457,000	115	96	6,120	

注：「(参考) 10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査として実施したものであり、てんさいの生産に関する実態を明らかにし、「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標の策定及び目標達成に向けた生産指導・達成状況検証のための資料、「畑作物共済事業」における共済基準収量算定及び農業共済組合連合会当初評価高の審査・認定のための資料、てんさいに関する生産振興を図るための産地収益力向上支援事業等の各種事業の資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

北海道

(2) 調査対象の選定

製糖会社

(3) 調査対象数

	事業場数	回収数	回収率
てんさい	事業場 3	事業場 3	% 100

3 調査事項

作付面積及び集荷量

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

製糖会社に対する往復郵送調査による。

6 集計方法

調査結果により算出された作付面積、集荷量及び10 a 当たり収量を必要に応じて巡回・情報収集により補完し、取りまとめている。

7 目標精度

本調査は、製糖会社に対する全数調査のため、目標精度は設定していない。

8 統計表の見方

(1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入している。

原 数		7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

(2) 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「△」：負数又は減少したもの

9 その他

この資料の数値は他の作物の数値と併せ、ホームページに掲載(平成24年6月予定)するとともに、その後刊行する『作物統計』に掲載する。

なお、数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「工芸農作物(さとうきび・茶など)」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織・政策>大臣官房の部局別トップへ
<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織・政策>生産局の部局別トップへ
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3682

(直通) 03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3589

(直通) 03-6744-2037